



# 日本



# 文具

# クロニクル



1952年、クオパティスの創始者ベルトラミは、自分用に元祖見開き1週間のパーチカルタイプ『アシエンダプランニングダイアリー』のフォーマットを考案。実用的な機能が人気を呼び、1954年にはフランスのマルセイユに本社工場を設立、本格的なダイアリーの生産を開始。



1950  
マット水彩  
[サクラクレパス]

「子どもたちが図工や美術でのびのび絵が描ける」をコンセプトに開発された半透明水彩絵の具。水で薄く溶くとにじみやかすれも表現でき、濃く溶くとムラなく塗れる。失敗しても色を塗り重ねて修正できる。チューブは、鉛チューブからポリチューブやラミネートチューブに変化した。



ポリチューブ



1995 ラミネートチューブ



日本唯一!  
プラスチック製小型鉛筆削り  
専門メーカー

Plastic Pencil Sharpners

中島重久堂



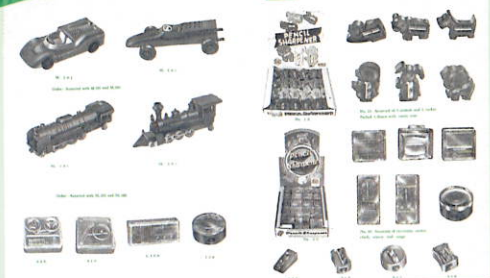
1950年代前半



1950年代後半



1950年代後半～  
1960年代初頭



(上) 1960年代: カタログ (下) 1970年代: カタログ

1933年創業。1950年代にプラスチックの成型機を自社開発し、小型鉛筆削りの製造を開始。写真は輸出用に製作された品々。オリジナルの小型鉛筆削りは成型の美しさ、精度、刃の研磨技術の高さで世界的に評価を獲得。近年はフランスでのデザイン展にも出展した。

1951年、サンフランシスコ講和条約、日米安全保障条約に調印。日本映画初のカラー作品『カルメン故郷に帰る』公開。1950年以降、戦中から戦後にかけてプラスチック製品が大量に製造。

~1952

お空の色はどんな色、のCMでおなじみ



スケッチセット用パレット

1951  
ギターペイント  
[寺西化学工業]



スケッチセット用 1970~80年代



1952  
べんてる  
えのぐ  
[べんてる]



1951 べんてる (オイルパス)  
[べんてる]



1948  
ギター  
ファインパス  
[寺西化学工業]

(右) ギターパスの初代商品『ギターファインパス』。折れにくく、濃い発色、重色・混色もOK。(左) 大阪のメーカーを買収、水彩絵の具『ギターペイント』を製造開始。これがヒット商品となり、教育用画材の主要メーカーとなった。1979年頃のCMも人気に。



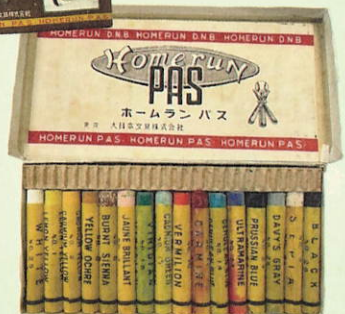
1949  
ドラゴンえのぐ  
[べんてる]



べんてるの前身は1946年に設立の大日本文具株式会社。戦後の美術教育に注力。(右) 創立3年後にチューブ入り国産透明水彩絵の具『ドラゴンえのぐ』を発表。(左) その後、初めて絵の具に触れる子どもたちも使いやすいものと、不透明水彩の『べんてるえのぐ』を発表する。



1950  
ホームランパス  
[べんてる]



(右) 箱に飾りバットと野球ボールのイラストが描かれた『ホームランパス』は、豪華な16色セット。(左) パステルを改良、美しく定着力のある『べんてる』が完成。商品名はベインティングの「ペン」、パステルの「テル」で宮田重雄画伯が命名した。

1969

1970

1980

1990

2000

2010

1969

1970

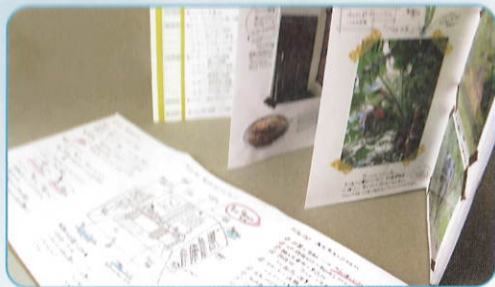
1980

1990

2000

2010

2014年、パイロットが『フリクションスタンプ』発売。浸透印タイプで専用ラバー付き。2015年、コクヨが独自開発の柔らかな樹脂リングを採用した『ソフトリングノート』を発売。キングジムがカードサイズののり付きライブログ『暮らしのキログ』発売。



accordion note  
[山根/+lab]

御朱印帳のようにページがじゃばら状につながっている。プロジェクトの変遷の記録、旅日記、物語や絵本など使い方は自在。2017年にゴムバンド付き、厚い表紙にリニューアル。

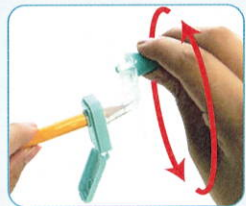


鉛筆を挿し、左右に軽くひねるだけで、鉛筆を持ち変えることなく簡単に削れる。削りカスがこぼれづらく、自動で開閉するシャッターキャップも楽しい。日本文具大賞2014年機能部門グランプリ受賞。

ラチェッタワン  
[ソニック]



「鉛筆を最後まで使い切る」がコンセプト



スケルトンの本体にアクセントカラーが楽しいミニ鉛筆削り。ふたを開け、挿した鉛筆ではなく、据え置き型のようにハンドルを回す。精度の高い日本製の刃を搭載、軽い力でも使いやすい。

くるくる・  
カールくん  
[カール事務器]

TSUNAGO  
[中島重久堂]

短くなった鉛筆を最後まで使い切るために、鉛筆2本をつなぐ凸凹を穿孔する専用の鉛筆削り。売上金の一部も環境保護団体に寄付される。精緻な加工技術で循環型社会を目指す文房具だ。2015年グッドデザイン賞受賞。



2015

2014年、テレビアニメ『妖怪ウォッチ』放映。2015年、北陸新幹線金沢～長野間開業。アップルが『Apple Watch』発売。羽田圭介『スクラップ・アンド・ビルド』と又吉直樹『火花』が芥川賞受賞。



スウィングカット  
[レイメイ藤井]

軽くなめらかな切れ味を追求。ハサミの支点をずらすことで、刃を引きながら切る「引き切り効果」を実現。力の伝わりやすい左右非対称のハンドル設計。



位置決め後に色部分を押しすと定規が紙にフィットし、すべらずゆがまず線が引ける。カッターやペンと用途別に使い分けられる透明アクリルとアルミのW素材。プロユースに耐える15cm。

ビタット  
ルーラー  
[プラムネット]

ななメガカレンダー  
[大成美術プリンティング]

ブロック型のメモ500枚すべてのページにカレンダーが印刷されており、メモを何枚使ってもずっと見やすい。計算された精緻なものづくりの代表格。現行品はペンホールが付いている。



アーチ  
[サクラクレパス]

特殊発泡体配合のフォーム生地を採用し、消字性能を向上。軽い力でしっかり消せる。使用中の折れを防ぐアーチ状カバー、握りやすいグリップ付き。2016年にブラックも登場。

~2015

2014



フェキくん  
[不易糊工業]

新容器に入った液状のり。フェキくんの顔とボディを逆方向にひねると開く。でんぶんのりを卒業した子ども向けに発売されたが、デスクのマスコットにする大人女子も多い。

フェキくん、立ち上がる